

日 程 表

11月28日(金)	
8:00	
9:00	
10:00	
11:00	
12:00	
13:00	
	13:10～ 開会の辞
14:00	13:15～14:05 ランチョンセミナー1 座長：四元 房典 演者：松村 謙臣
15:00	14:10～15:16 一般演題1 座長：浅野間 和夫
16:00	15:20～16:10 アフタヌーンセミナー 座長：永瀬 智 演者：村井 純子 共催：武田薬品工業株式会社
17:00	16:15～17:10 「天神・菊池賞」候補演題 座長：梶山 広明
18:00	17:15～18:05 イブニングセミナー 座長：矢幡 秀昭 演者：西川 忠暁
19:00	
	19:00～21:00 懇親会（天神・菊池賞表彰式）

11月29日(土)	
8:00	7:50～8:25 理事会
9:00	8:30～9:36 一般演題2 座長：井篁 一彦
10:00	09:40～10:40 特別講演 座長：加藤 聖子 演者：山吉 麻子
11:00	10:45～11:40 一般演題3 座長：小林 裕明
12:00	11:45～12:35 ランチョンセミナー2 座長：吉野 潔 演者：久慈 志保
13:00	12:40～12:50 閉会式（井上賞表彰式）
14:00	
15:00	
16:00	
17:00	
18:00	

プログラム

第1日目：2025年11月28日(金)

13:10～

開会の辞

第24回日本婦人科がん分子標的研究会 会長

加藤 聖子（九州大学医学部 婦人科学産科学教室）

13:15～14:05 ランチョンセミナーI

「進行再発子宮体がん薬物療法の新展開」

座長：四元 房典（福岡大学医学部 産婦人科学講座）

演者：松村 謙臣（近畿大学医学部 産婦人科学講座）

共催：アストラゼネカ株式会社

14:10～15:16 一般演題I

座長：浅野間 和夫（九州大学大学院医学研究院 周産期・小児医療学講座）

1. 卵巣がんの予後予測因子と治療標的になりうる低酸素応答関連の新規長鎖非コードRNA

堀江 公仁子（埼玉医科大学医学部 ゲノム応用医学）

2. CT45 陽性子宮体癌における腫瘍浸潤リンパ球のシングルセル解析による免疫環境の解明

河村 圭子（九州大学病院産科婦人科）

3. 子宮体癌における Malic Enzyme 1 の発現と機能および阻害効果の検討

内山 夏紀（信州大学医学部 産科婦人科）

4. 膣分泌液 EV に含まれる miR-575 は上皮性卵巣がん患者において有意に低下している

安積 麻帆（神戸大学医学部附属病院 産科婦人科）

5. 卵巣癌腹膜播種における脂肪細胞-中皮細胞-腫瘍細胞間相互作用の分子基盤

國島 温志（名古屋大学大学院産婦人科）

6. Adeno associated virus-CRISPR/Cas9 を用いた卵巣癌の PD-L1 遺伝子を標的とした新規遺伝子免疫療法の開発

八幡 環（和歌山県立医科大学 産科婦人科学教室）

15:20～16:10 アフタヌーンセミナー

「【前半】PARP 阻害剤の作用機序 UPDATE

～PRIMA 試験 OS 最終解析を基礎から紐解く～

【後半】SLFN11 で切り拓く化学療法のプレシジョンメディシン

～その可能性と課題～」

座長：永瀬 智（山形大学医学部 産科婦人科学講座）

演者：村井 純子（愛媛大学プロテオサイエンスセンター兼大学院医学系研究科生化学・分子遺伝学）

共催：武田薬品工業株式会社

16:15～17:10 「天神・菊地賞」候補演題

座長：梶山 広明（名古屋大学大学院医学系研究科・医学部医学科 産婦人科学）

7. 子宮内膜がんプレクリニカルモデルを用いた、レンバチニブ+抗 PD-1 抗体併用療法の抗腫瘍メカニズムの解析

加嶋 洋子（近畿大学病院）

8. 卵巣明細胞癌における Tissue Factor 発現の意義と Tisotumab Vedotin の有効性

森 裕太郎（新潟大学医学部産科婦人科）

9. 卵巣癌患者における PARP 阻害薬の効果と関連する腸内細菌叢の特徴

坂井 美佳（四国がんセンター）

10. MDM4 阻害薬 CEP-1347 は卵巣明細胞癌細胞の野生型 p53 を活性化し増殖を抑制する

伊藤 泰史（山形大学医学部 産科婦人科学講座）

11. 新規卵巣癌マウスモデルを用いた高異型度漿液性卵巣癌に対する新規治療標的の同定

永井 晋平（慶應義塾大学 医学部 産婦人科学教室）

17:15～18:05 イブニングセミナー

「子宮体がんに対する分子標的治療を考える」

座長：矢幡 秀昭（九州大学大学院医学研究院 生殖病態生理学分野）

演者：西川 忠暁（東京慈恵会医科大学 産婦人科学講座）

共催：エーザイ株式会社

19:00～21:00 懇親会

天神・菊地賞表彰式

第2日目：2025年11月29日(土)

7:50～ 8:25 理事会

8:30～ 9:36 一般演題2

座長：井篁 一彦（和歌山県立医科大学 産科婦人科学教室）

12. 進行卵巣癌で Meflin 陽性癌関連線維芽細胞が腫瘍進展、生命予後に与える影響

宮本 絵美里（名古屋大学大学院医学系研究科 産婦人科学講座）

13. 固形がん特異的ドラッグデリバリーシステムにおける遺伝子改変生物製剤の免疫学的安全性の検討

窪 凜太郎（鹿児島大学 産科婦人科・婦人科がん先端医療学講座）

14. 卵巣癌におけるポリアミン阻害剤による腹水産生抑制効果

堀川 翔太（山形大学医学部）

15. 子宮体癌予後不良因子としての L1CAM の機能

黒須 博之（北海道大学大学院 医学研究院 産婦人科学教室）

16. 京都大学医学部附属病院臨床試験：癌ゲノム医療における進行性子宮平滑筋肉腫に対する抗腫瘍剤の選択

林 琢磨（国立病院機構京都医療センター がん医療）

17. 子宮内膜症上皮細胞において KRAS/PIK3CA 変異はプロゲスチン抵抗性の原因となり得るか？

菅野 晃輔（島根大学医学部附属病院産婦人科）

9:40～10:40 特別講演

「遺伝子発現の光制御とエクソソーム随伴型薬物送達システムの開発」

座長：加藤 聖子（九州大学医学部 婦人科学産科学教室）

演者：山吉 麻子（東京科学大学 生命理工学院人間医療科学技術コース）

10:45~11:40 一般演題3

座長：小林 裕明（鹿児島大学医学部 産科婦人科学教室）

18.超耐光性脂肪滴蛍光プローブを用いた脂肪細胞脱分化阻害剤スクリーニングと卵巣癌腹膜播種の新規治療戦略

伊吉 祥平（名古屋大学大学院医学系研究科産婦人科）

19.子宮頸癌におけるアディポフィリン免疫染色を用いた予後予測と治療標的としての可能性の検証

藤野 めぐみ（和歌山県立医科大学 産科婦人科学教室）

20.固形がんの低酸素領域で5-FUを産生する遺伝子改変ビフィズス菌における腫瘍内増殖性改善の試み

税所 篤志（鹿児島大学 産科婦人科・婦人科がん先端医療学講座）

21.進行上皮性卵巣癌における全身炎症指標と腫瘍内リンパ球浸潤の予後への影響

柴原 真美（産業医科大学産科婦人科学）

22.BRAF/KRAS 変異細胞におけるTET3発現抑制による合成致死誘導に関する研究

小野山 一郎（九州大学病院）

11:45~12:35 ランチョンセミナー2

「私ならこうする！目の前の患者さんの為の臨床試験とは！

～NRG-GY018/KEYNOTE868を紐解く～」

座長：吉野 潔（産業医科大学医学部 産科婦人科学）

演者：久慈 志保（聖マリアンナ医科大学 産婦人科学）

共催：MSD 株式会社

12:40~12:50 閉会式

井上賞表彰式

閉会の辞

第24回日本婦人科がん分子標的研究会 会長

加藤 聖子（九州大学医学部 婦人科学産科学教室）

次回会長挨拶

第25回日本婦人科がん分子標的研究会 会長

井籠 一彦（和歌山県立医科大学 産科婦人科）